

SHIRAKOBATO

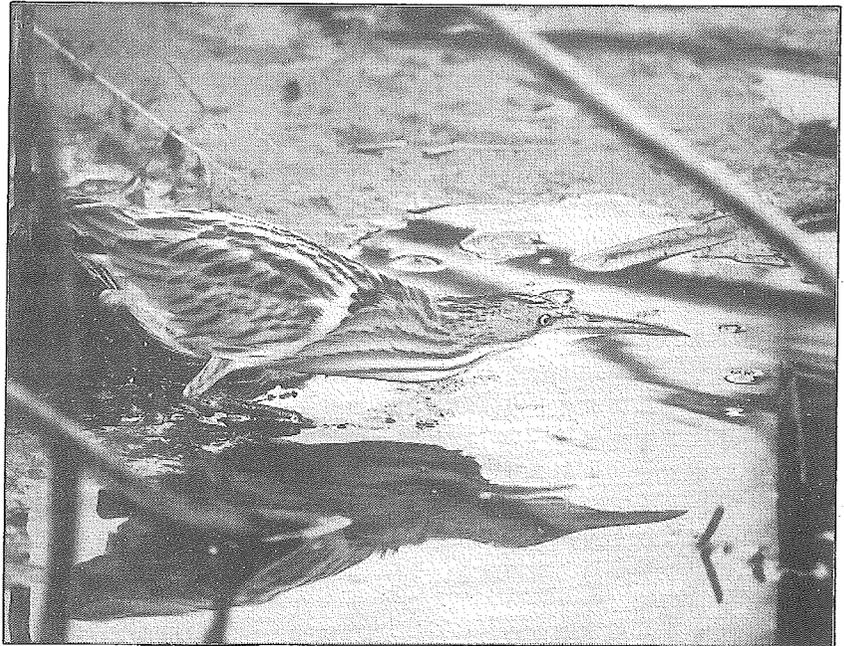
しらこぼと



1992. 7

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 98

日本野鳥の会 埼玉県支部

埼玉県内鳥類リスト

1978年4月～1992年4月

日本野鳥の会埼玉県支部 野鳥記録委員会

前回研究部が埼玉県産鳥類リストを発表したのが1990年1月。以来今日まで更に何種類かが観察されたので、リスト作成の仕事を引き継いだ当委員会が、新しく発表します。

対象の期間

例えば江戸時代の文献までさかのぼり、クロトキなどまでを記録することが、県内の鳥相と環境を知るためのリスト作成に、意味があるのかどうか問われます。

さまざまな議論がありましたが、ここで注目されるのが、埼玉県動物誌編集委員会（須甲鉄也委員長）編著、埼玉県教育委員会1978年3月発行の『埼玉県動物誌』です。その中の小杉昭光氏による「埼玉の鳥類」に、それまでの県内における野鳥目録がまとめられています。そこで当支部では、これを便宜的な区切りとして、1978年4月以降のデータによるリストを作成しました。

記録する基準

確実性を期すために、このリストに記録するのは、次のような裏付けがあるものに限られます。

- ① 保護、捕獲、死体取得、写真撮影、声の録音など、客観的資料があるもの。
- ② 複数の観察者による確実性の高い観察記録があるもの。
- ③ ①②の裏付けのあるものとして信頼できる資料に発表されたもの。

この要件を満たす県内の情報であれば、支部会員以外の情報でも、記録されます。

貴重な観察であっても、残念ながら写真などの客観的資料のないものは、このリストには記録されません。リスト中になく種を埼玉県内で写真撮影などされた方は、当委員会までお知らせください。

リストの名前

従来「埼玉県産鳥類リスト」という名前で発表してきましたが、「産」という文字が、「繁殖」とまぎらわしいので、今回から「埼玉県内鳥類リスト」と呼ぶことにしました。

カイツブリ科	15	ヨシゴイ	31	ヒシクイ
1 カイツブリ	16	オオヨシゴイ	32	オオハクチョウ
2 ハジロカイツブリ	17	ミゾゴイ	33	コハクチョウ
3 ミミカイツブリ	18	ゴイサギ	34	アカツクシガモ
4 アカエリカイツブリ	19	ササゴイ	35	オシドリ
5 カンムリカイツブリ	20	アカガシラサギ	36	マガモ
アホウドリ科	21	アマサギ	37	カルガモ
6 コアホウドリ	22	ダイサギ	38	コガモ
ミズナギドリ科	23	チュウサギ	38	トモエガモ
7 シロハラミズナギドリ	24	コサギ	40	ヨシガモ
8 オオミズナギドリ	25	アオサギ	41	オカヨシガモ
9 ハシボソミズナギドリ	26	ムラサキサギ	42	ヒドリガモ
ウミツバメ科		(1990. 4 戸田)	43	アメリカヒドリ
10 コシジロウミツバメ	コウノトリ科		44	オナガガモ
11 クロコシジロウミツバメ	27	コウノトリ	45	シマアジ
ネッタイチョウ科	28	ナベコウ	46	ハシビロガモ
12 アカオネッタイチョウ		(1990. 10 川越)	47	アカハシハジロ
ウ科	トキ科		48	ホシハジロ
13 カワウ	29	クロツラヘラサギ	49	オオホシハジロ
サギ科	ガンカモ科		50	クビワキンクロ
14 サンカノゴイ	30	マガン		(1991. 11 戸田)

51	アカハジロ	92	イカルチドリ	134	クロトウゾクカモメ
52	キンクロハジロ	93	シロチドリ	135	シロハラトウゾクカモメ
53	スズガモ	94	メダイチドリ	カモメ科	
54	クロガモ	95	ムナグロ	136	ユリカモメ
55	シノリガモ	96	ダイゼン	137	セグロカモメ
56	ホオジロガモ	97	ケリ	138	オオセグロカモメ
57	ミコアイサ	98	タゲリ	(1990. 1 本庄)	
58	ウミアイサ	シギ科		138.	カモメ
59	カワアイサ	99	キョウジョシギ	(1990. 3 本庄)	
ワシタカ科		100	トウネン	140	ウミネコ
60	ミサゴ	101	ヒバリシギ	141	ミツユビカモメ
61	ハチクマ	102	オジロトウネン	142	ハジロクロハラアジサシ
62	トビ	103	アメリカウズラシギ	143	アジサシ
63	オジロワシ	104	ウズラシギ	144	セグロアジサシ
64	オオワシ	105	ハマシギ	145	コアジサシ
65	オオタカ	106	サルハマシギ	ハト科	
66	ツミ	107	オバシギ	146	シラコバト
67	ハイタカ	108	エリマキシギ	147	キジバト
68	ケアシノスリ	109	コモンシギ	148	アオバト
69	ノスリ	110	オオハシシギ	ホトトギス科	
70	サシバ	111	シベリアオオハシシギ	149	ジュウイチ
71	クマタカ	112	ツルシギ	150	カッコウ
72	イヌワシ	113	アカアシシギ	151	ツツドリ
73	ハイイロチュウヒ	114	コアオアシシギ	152	ホトトギス
74	チュウヒ	115	アオアシシギ	フクロウ科	
ハヤブサ科		116	クサシギ	153	トラフズク
75	ハヤブサ	117	タカブシギ	154	コシミズク
76	チゴハヤブサ	118	キアシシギ	155	コノハズク
77	コチョウゲンボウ	119	イソシギ	156	オオコノハズク
78	チョウゲンボウ	120	ソリハシシギ	157	アオバズク
キジ科		121	オグロシギ	158	フクロウ
79	ウズラ	122	オオソリハシシギ	ヨタカ科	
80	コジュケイ	123	ダイシャクシギ	159	ヨタカ
81	ヤマドリ	(1992. 4 大宮)		アマツバメ科	
82	キジ	124	ホウロクシギ	160	ハリオアマツバメ
ツル科		125	チュウシャクシギ	161	ヒメアマツバメ
83	マナヅル	126	コシャクシギ	162	アマツバメ
クイナ科		127	ヤマシギ	カワセミ科	
84	クイナ	128	タシギ	163	ヤマセミ
85	ヒメクイナ	129	チュウジシギ	164	ヤマショウビン
86	ヒクイナ	130	オオジシギ	165	アカショウビン
87	バン	セイタカシギ科		166	カワセミ
88	ツルクイナ	131	セイタカシギ	ブッポウソウ科	
89	オオバン	ヒレアシシギ科		167	ブッポウソウ
タマシギ科		132	アカエリヒレアシシギ	ヤツガシラ科	
90	タマシギ	ツバメチドリ科		168	ヤツガシラ
チドリ科		133	ツバメチドリ	キツツキ科	
91	コチドリ	トウゾクカモメ科		169	アリスイ

170	アオゲラ	205	コルリ	キバシリ科	246	キバシリ
171	アカゲラ	206	ルリビタキ	メジロ科	247	メジロ
172	オオアカゲラ	207	クロジョウビタキ	ホオジロ科	248	ホオジロ
173	コゲラ	208	ジョウビタキ	249	コジュリン	
ヒバリ科	209	ノビタキ	250	ホオアカ		
174	コヒバリ	210	サバクヒタキ	251	カシラダカ	
(1992. 1 戸田)	211	イソヒヨドリ	252	ミヤマホオジロ		
175	ヒバリ	212	マミジロ	253	シマアオジ	
176	ハマヒバリ	213	トラツグミ	254	ノジコ	
ツバメ科	214	クロツグミ	255	アオジ		
177	ショウドウツバメ	215	アカハラ	256	クロジ	
178	ツバメ	216	シロハラ	257	オオジュリン	
179	コシアカツバメ	217	マミチャジナイ	258	ツメナガホオジロ	
180	イワツバメ	218	ツグミ	アトリ科	259	アトリ
セキレイ科	219	ノハラツグミ	260	カワラヒワ		
181	イワミセキレイ	220	ウタツグミ	261	マヒワ	
182	ツメナガセキレイ	(1991. 10 川口)	262	ベニヒワ		
183	キガシラセキレイ	(ウグイス亜科)	263	ハギマシコ		
184	キセキレイ	221	ヤブサメ	264	オオマシコ	
185	ハクセキレイ	222	ウグイス	265	イスカ	
186	セグロセキレイ	223	オオセッカ	266	ベニマシコ	
187	ピンズイ	224	シマセンニュウ	267	ウソ	
188	ムネアカタヒバリ	225	コヨシキリ	268	コイカル	
189	タヒバリ	226	オオヨシキリ	269	イカル	
サンショウクイ科	227	メボソムシクイ	270	シメ		
190	サンショウクイ	228	エゾムシクイ	ハタオリドリ科	271	ニューナイスズメ
ヒヨドリ科	229	センダイムシクイ	272	スズメ		
191	ヒヨドリ	230	ククイタダキ	ムクドリ科	273	コムクドリ
モズ科	231	セッカ	274	ムクドリ		
192	チゴモズ	(ヒタキ亜科)	コウライウグイス科	275	コウライウグイス	
193	モズ	232	キビタキ	カラス科	276	カケス
194	アカモズ	233	ムギマキ	277	オナガ	
195	オオモズ	234	オジロビタキ	278	ホシガラス	
レンジャク科	235	オオルリ	279	ハシボソガラス		
196	キレンジャク	236	サメビタキ	280	ハシブトガラス	
197	ヒレンジャク	237	エゾビタキ	以上17目53科 280種		
カワガラス科	238	コサメビタキ	(行数の都合で「目」名省略。			
198	カワガラス	(カササギヒタキ亜科)	日付と地名は、新しく追加され			
ミソサザイ科	238	サンコウチョウ	た種が、県内で最初に確認され			
199	ミソサザイ	エナガ科	た日付と地名)			
イワヒバリ科	240	エナガ				
200	イワヒバリ	シジュウカラ科				
201	カヤクグリ	241	コガラ			
ヒタキ科	242	ヒガラ				
(ツグミ亜科)	243	ヤマガラ				
202	コマドリ	244	シジュウカラ			
203	ノゴマ	ゴジュウカラ科				
204	オガワコマドリ	245	ゴジュウカラ			

地鳴きコーナー

おいしい食事と海と空

北折 佳司（東京都）

はるか海原を飛ぶ大群、みわたすかぎりのオオミズナギドリの群れが、ゆっくりと御蔵島の方へ、夕暮れの空港でそれは信じがたい風景でした。

早朝から始まって夜の林道での探鳥まで、民宿に戻ってからも貴重なビデオ（撮影の極意情報解説付き）と、鳥づくしの毎日。

三宅島は海へ向かう道がいいです。歩いていく先に海が広がって行きます。道には島特産のアカコッコが出て楽しめるし、イイジマムシクイの声もいけれど、ウグイスのケキョ、ケキョ、……と続くさえずりと姿もいものです。

大路池のカラスバトの後ろ姿、富賀神社のコゲラ、飛び回るオーストンヤマガラ、伊豆岬でのキョウジョシギ、カツオドリの優美なダイビング等、じっくりと見ることで感激です。鯖港ではアマツバメや、イソヒヨドリの糞まで、どんなものか見てしまいました。それにしても、ヤツガシラには驚きました。童話の世界のようなきれいな色でした。

みんな、鳥はもちろん植物も詳しくて、色々教えて貰って本当にありがとうございます。民宿のおじさんには、枕木で作った生闘学舎の建物や、噴火跡を案内してもらったハプニングもありました。帰りの航路ではオオミズナギドリが海面すれすれに飛び、トウゾクカモメも姿を見せました。

自給自足という民宿のおいしい食事、里芋やアンタバのおひたし、とれたての魚、島のすべてが手に取れるような自然とのサイクルを感じさせて、穏やかな海と空を満喫した探鳥会でした。（珍しい鳥と64種の数多い成果）幹事の皆さん、どうもありがとうございました。

町田さん、菱沼さんのすばらしい即日ビデオ今後とも宜しく。



戸隠・飯綱探鳥会に参加して

千葉 幸好（川越市）

森林公園の入口でバスからおりる。ふりそそぐサウンド・シャワーが、マージャン、カラオケで疲れ切った俺の体にしみ込む。

北川リーダーの後に続き、鳴き声のレクチャーを受ける。

「ホーイ、チョイ、チョイ、チョイ。これがクロジです。」

さらに進み鳥の声。

「これは何ですか。」

さっそく北川リーダーの質問がとぶ。どきまぎしている我々に対し、穏やかな微笑で、

「これはクロジです。」

な、な、なんと、今、教えてもらったばかりではないか。しかし、俺は考えた。これは、教えたことはどの程度、生徒が覚えているか質問せずにはいられない教師の悲しい習性なのである。これで次の質問に対しては、教わったことを答えれば良いのである。ムフフ……。

次の日、めあてのサンショウクイも見ることができ、ベリーグッドな探鳥会であった。

北秋津野鳥便り

水本 玲子（所沢市）

5月22日昼、我が北秋津地区の茶畑に囲まれた住宅のアンテナなどあって鳴くカッコウの姿を見る事が出来ました。

土地政策が変更された為、この辺りの雑木林、栗林、茶畑などが急激に駐車場と化し、私は沈黙してしまいました。

カッコウの声に目覚め、久しぶりにお便り致しました。

野鳥情報

オシドリ ◇3月27日、深谷市の上武大橋下流で♂♀各1羽(井上幹男)。

カルガモ(淡色型) ◇4月6日、鷺宮町のつるしろ公園の池で羽毛全体が葦色～白色の固体1羽。模様はカルガモに一致しており、頭部では特徴がよく表れていた。くちばしはカルガモと同様であった。4月20日に交尾がみられ、この時にメスであることが分かった(宇賀神若人)。

ヨシガモ ◇3月15日、富士見市の新河岸川、木染橋～岡坂橋間で♂1羽(中司隆由)。

◇3月15日、志木市の柳瀬川、高橋下流で♂1羽(二村英克)。◇3月28日、戸田市道満貯水池で♂1羽(二村英克)。

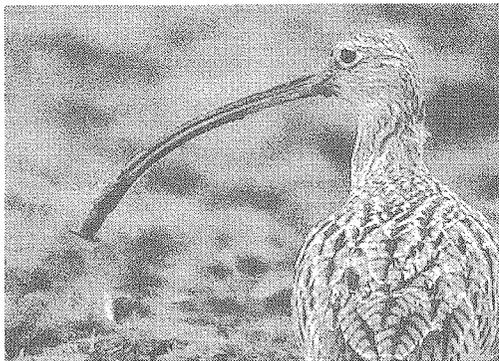
ミサゴ ◇3月22日、神泉村の神流湖で1羽。広い湖面をゆうゆうと我が物顔で飛びまわっていた(町田好一郎)。

ツミ ◇4月2日、浦和市岸町4丁目の支部事務局上空を鳴きながら通過する(海老原美夫)。

ハイタカ ◇3月22日、神泉村の上峯公園で1羽。アトリをさかんにアタックしていた(町田好一郎)。

クイナ ◇3月11日、幸手市木立の中川で2羽(秋間利夫)。◇3月29日、狭山市の入間川、豊水橋付近で1羽(石井幸男)。

ムナグロ ◇4月8日、浦和市秋ヶ瀬のB区で7羽。夏羽の個体もいました(渡辺喜八郎)。



(海老原美夫)

ケリ ◇3月27日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。

タゲリ ◇3月11日、幸手市木立の中川で4羽(秋間利夫)。

オジロトウネン ◇3月11日、幸手市木立の中川で7羽(秋間利夫)。

ハマシギ ◇3月29日、狭山市の入間川、豊水橋付近で1羽(石井幸男)。

エリマキシギ ◇3月27日、本庄市の阪東大橋下流で3羽(井上幹男)。

クサシギ ◇3月29日、狭山市の入間川、豊水橋付近で1羽(石井幸男)。

ダイシャクシギ ◇4月8日、大宮市昭和地区、通称大久保農耕地A区で1羽。ザリガニを捕食していた。ビデオ撮影に成功する(海老原美夫)。

※本種は従来、写真など客観的資料を伴う記録がなく、これが県内初の確認記録となる(野鳥記録委員会)。

タシギ ◇3月11日、幸手市木立の中川で6羽(秋間利夫)。◇3月19日、本庄市の阪東大橋下流で4羽。水もぬるんできたので交互に水浴びと羽づくろい。長いくちばしで器用なこと(町田好一郎)。

オオジシギ ◇4月8日、浦和市秋ヶ瀬のB区で1羽(海老原美夫)。

ユリカモメ ◇3月22日、志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間で42羽。その中で頭上に黒い横線が入り、夏羽に変換中の個体4羽(中司隆由)。

セグロカモメ ◇4月22日、幸手市木立の中川で3羽(井上幹男)。

コアジサシ ◇3月29日、午後4時頃、本庄市の阪東大橋下流で2羽。小雨の中、ホバリングしながら上流へ。今年は早い(町田好一郎)。

コミミズク ◇4月9日、幸手市木立の中川で1羽(秋間利夫)。◇4月9日、富士見市の柳瀬川で1羽。真昼間に飛んでいた。アブラコウモリも盛んに飛びまわる。ミステリアス……(中村 治)。

アマツバメ ◇3月27日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。

ヒメアマツバメ ◇3月27日、本庄市の阪東

大橋下流で1羽(井上幹男)。◇3月29日
狭山市の入間川、豊水橋付近で1羽(石井
幸男)。

ヤマセミ ◇3月22日、神泉村の神流湖で♂
♀各2羽。求愛求餌を繰り返していた。一
度に4羽も見たのは初めて。ラッキーな一
日だった(町田好一郎)。

カワセミ ◇3月20日、午後4時頃、本庄市
の阪東大橋下流で♂♀各1羽。求愛求餌を
ビデオに収める(町田好一郎)。

アリスイ ◇4月8日、浦和市秋ヶ瀬公園の
野鳥園で1羽(海老原美夫)。

アカゲラ ◇4月4日、北本市石戸宿の東屋
付近で♂♀各1羽。約25分間一緒にいるの
を観察。オスはドラミングまでしました
(吉原俊雄)。

コゲラ ◇3月30日、浦和市針ヶ谷の自宅の
庭で1羽(福井 亘)。

ツバメ ◇3月24日、栗橋町狐塚で1羽(秋
間利夫)。◇3月26日、桶川市川田谷で3
羽(立岩恒久)。

イワツバメ ◇3月14日、志木市役所の駐車
場で2羽(二村英克)。

ミソサザイ ◇3月29日、狭山市の入間川、
豊水橋付近で1羽(石井幸男)。

トラツグミ ◇3月25日午前8時15分、埼玉
古墳駐車場奥のブッシュ前で餌をとる(新
井郁代)。

アカハラ ◇3月29日、浦和市秋ヶ瀬の子供
の森で1羽。人気のない雨の中にさえずり
がひびいて一瞬高原の気分(海老原美夫)。

ウグイス ◇3月19日、久喜市の自宅の隣家
の梅の木でよい声で鳴く(新井武次)。

セッカ ◇4月4日、鴻巣市の荒川河川敷で
2羽。舞い上がっては降り、しきりにさえ
ずる。今年は暖かいので少し早いかな(内



(押川 歳子)

藤義雄)。

ホオアカ ◇3月18日、浦和市秋ヶ瀬のA区
で1羽(鈴木啓紀)。

ヤマガラ ◇4月2日、浦和市上野田の浦和
市野田農協で1羽。さえずる(藤原寛治)。

カシラダカ ◇3月31日、深谷市の上武大橋
下流で夏羽♂1羽(井上幹男)。

アオジ ◇4月9日、大宮ゴルフコースで3
羽。鈴をころがすような声でコーラス(立
岩恒久)。

オオジュリン ◇3月11日、幸手市木立の中
川で10羽以上(秋間利夫)。◇3月20日、
川越市古谷上で5~6羽。葦の茎に縦にと
まって、虫を食べているようでした(松尾
英美)。

アトリ ◇3月22日、神泉村の上峯公園で約
3000羽。あまりの数の多さに口をあぐり
(町田好一郎)。

イカル ◇3月30日、桶川市若宮の自宅前
を西から東へ4羽。「キョキョッ」と鳴き
ながら通る(立岩恒久)。

コムクドリ ◇4月7日、深谷市の上武大橋下
流で♂1羽♀2羽(井上幹男)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト1991 入選作

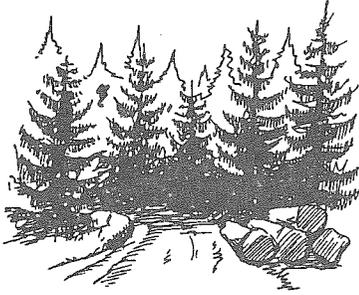
ヨシゴイ (サギ科)

伊佐沼(川越市)の夏は殊の外暑い。夏の
暑いのは当り前のことだが、木陰もなく、水
面からの熱気と照り返しが「殊の外」と思わ
せるのだろう。そんな暑さの中、カイツブリ、
バンなどの水鳥を見たくて、時間を割いては

よく通った。中でも、独特の姿態とパフォー
マンスで楽しませてくれたヨシゴイが印象深
い。

昨年夏も何度か訪れたが、一度も会うこと
はできなかった。 野川一臣(大宮市)

行事あんない



栃木県・奥日光探鳥会

期日：7月4日(土)
集合：午前6時45分 大宮駅東武線改札口
車の場合は午前10時15分 現地(赤沼
駐車場)
解散：現地にて午後3時ごろ
担当：中島康夫、松井昭吾、福井恒人
見どころ：湿原の植物と鳥。草原のスター、
ノビタキ、ホオアカは声も姿も惜しみ
なく披露してくれます。ワタスゲやモ
ウセンゴケなど湿原特有の植物にも目
をむけてみましょう。

*先月号の〈要予約〉はミスです。どうぞ直
接、集合場所へお集り下さい。

上尾市・八枝神社探鳥会(夕方)

期日 7月5日(日)
集合：午後5時30分 西上尾第2団地バスセ
ンター(その後、現地まで歩きます。
約20分)
交通：JR高崎線上尾駅西口東武バス5番乗
り場(第一勧銀前)より17:04、17:
11のバスに乗車
担当：乗田実
見どころ：アオバズを聴く夕べ。耳をすませ
ていると、夕闇の奥からホッホー、ホッ
ホー…時には、まる子ちゃん・サザエ
さんをお休ませて、静寂を味わってみ
ませんか。
注意：蚊が気になる方は、虫よけや虫さされ
の薬をお持ち下さい。

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予
約申込みの必要はありません。受付は探鳥会
当日。参加費は一般100円。会員及び中学生
以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、
ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行で
す。解散時刻は、特に記載のない場合、正午
から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会
埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当
者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私
達もあなたを探していますので、ご心配なく。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：7月12日(日)
集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:06発または寄居9:
03発に乗車
担当：菱沼一充、森本國夫、関口善孝、菱沼
洋子
見どころ：カイツブリやパンの親子連れが楽
しみな季節。その可愛らしさ、もっと
もっとアップで見たい!という気持ち、
わかるけど、遠くからそーっと見守る
だけにしようね。

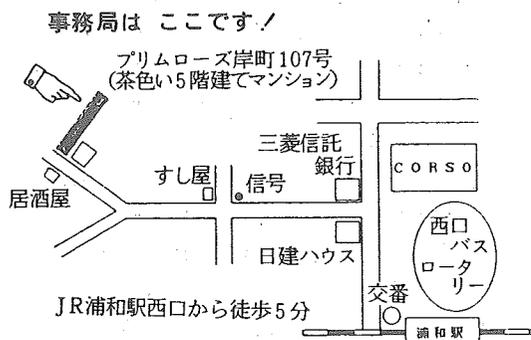
浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：7月19日(日)
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東
口(集合後、バスで現地へ)または、
午前9時 浦和市立郷土博物館前
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、手塚
正義、伊藤芳晴、田口浩司、笠原伸子、
馬場昇
見どころ：100回目の探鳥会。三室の里の案
内役をつとめて百ヵ月。たしかに長い
年月でした。でも身近な自然の魅力を
ご紹介するには、100回では、まだま
だ足りません。三室の探鳥会はこれか
ら回を重ねてゆきます。末永く、よ
ろしくお願い申し上げます。
お知らせ：探鳥会解散後、100回を記念して
野外パーティーを開催致します。当日

はバスでお越し下さい。また、飲物少々とお弁当を各自ご用意下さい。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：7月25日（土）午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局（地図参照）
案内：土曜の午後の過ごし方、A：ボケーとして過ごす。B：がんばって支部のお手伝い。さて、晩酌のビールがおいしいのはA、Bどちらでしょう？



野鳥写真クラブ定例会

とき：7月25日（土）午後2時ごろ～5時
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ
案内：ちょうど鳥の端境期、バードウォッチャー泣かせの季節。いろいろな鳥が見たくてたまらない、という方は、スライド&ビデオ探鳥会で欲求不満を解消しましょう。

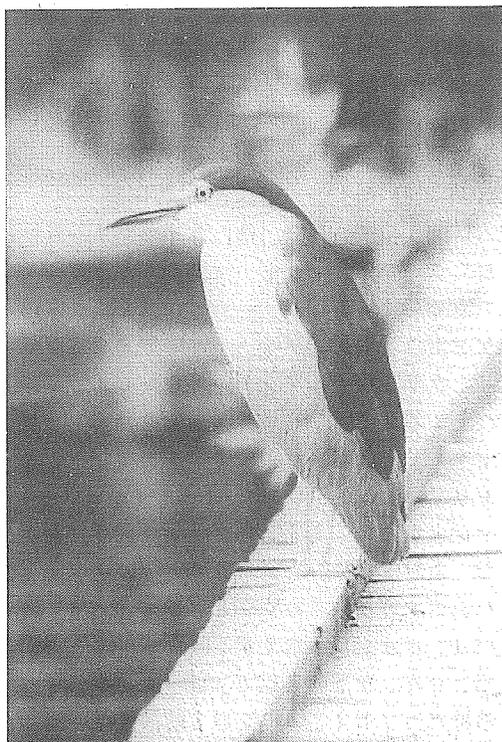
狭山市・入間川定例探鳥会

期日：7月26日（日）
集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口
交通：西武新宿線本川越8：42発または所沢8：39発に乗車
解散：稲荷山公園にて正午ごろ
担当：長谷部謙二、三田長久、石井幸男、佐久間博文、柳原正昭、小野光明
見どころ：暑い夏大好き！いい汗かいて河原を行けば、ササゴイ、カワセミ、コチドリが元気な姿で迎えてくれます。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月2日（日）
集合：午前9時20分 北本観察公園駐車場
交通：JR高崎線北本駅西口よりリーダーの指示に従ってタクシーに分乗して下さい（午前8時45分ごろから）
担当：岡安征也、榎本秀和、内藤義雄、吉原俊雄、関口善孝
見どころ：オオタカが舞う空は、まさに夏そのもの。でも、道端の植物のなかには、早くも次の季節の気配が、夏のまんなかで、小さな涼しさを探してみましよう。今回は、埼玉県自然学習センターがオープンしてから最初の探鳥会です。

8月9日（日）大麻生定例探鳥会
8月16日（日）三室地区定例探鳥会
8月23日（日）ワイワイガヤガヤVTRを楽しむ会
8月30日（日）リーダー研修会



ゴイスギ（登坂久雄・八王子市）

行事報告

3月8日(日) 熊谷市 大麻生

人 63人 天気 曇後快晴 鳥 カイツブリ
 カワウ ダイサギ コサギ アオサギ コハ
 クチョウ マガモ カルガモ コガモ オナ
 ガガモ トビ イソシギ キジバト カワセ
 ミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキ
 レイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョ
 ウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
 メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カ
 ワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボ
 ソガラス ハシブトガラス (35種) ハクチョ
 ウにつられて、明戸堰コースを歩く。猟期が
 終わっているため、個体数でも、種類数でも
 先月より多くのカモが観察される。カワセミ
 も目の前で何度もダイビング。ハクチョウも
 観察されるが、餌付けされている様子。餌付
 け自体には首をかしげる考えもあるが、これ
 をきっかけに明戸堰地区も禁猟区になってく
 れればと思う。(諏訪隆久)

3月8日(日) 川越市 西川越

人 28人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワ
 ウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ
 コガモ オナガガモ ハシビロガモ チョウ
 ゲンボウ コジュケイ イカルチドリ タゲ
 リ クサシギ イソシギ ユリカモメ キジ
 バト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハク
 セキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ
 ドリ モズ ツグミ ウグイス サメビタキ
 シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオ
 ジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ
 ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) ヒ
 バリ、ホオジロがさえずる暖かい日差しの中
 で、シギ、チドリを見て、コースの終わりこ
 ろにはカワセミ、カモを見て解散した。皆と
 帰る途中でこの日出なかったキジ♂2、♀6
 が田圃の中に出て、皆で見ると、なんとバ

サバサと飛んで近くの農家の裏の木に止まっ
 た。キジが木に止まるのは初めて見た。

(佐久間博文)

3月14日(土) 東京都 高尾山

人 36人 天気 晴 鳥 トビ オオタカ
 ツミ キジバト コゲラ キセキレイ セグ
 ロセキレイ ヒヨドリ ツグミ ウグイス
 キクイタダキ エナガ ヒガラ ヤマガラ
 シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ
 カワラヒワ スズメ ハシボソガラス ハシ
 ブトガラス (22種) 天気は最高。タチツボス
 ミレ、アオイスミレの花も咲き始めて、絶好
 の探鳥会日和。しかし、鳥さんの姿は今ひと
 つ。でも高尾山名物のヤマガラだけは、皆さ
 ん心ゆくまで楽しんでいただけたかと思いま
 す。(登坂久雄)

3月15日(日) 長野県 軽井沢

人 44人 天気 曇 鳥 ノスリ キジ キ
 ジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ キセ
 キレイ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガ
 ラス ミソサザイ ツグミ エナガ コガラ
 ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウ
 カラ ホオジロ カシラダカ アトリ カワ
 ラヒワ マヒワ ベニマシコ ウソ イカル
 シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ
 ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 前
 日の下見は、暖かくて上着を脱いで歩いた。
 雪はほとんどなく、日陰に名残雪程度。参加
 者の足ごしらえも気にせず探鳥会ができる反
 面、鳥が少ないのではないかと心配するリー
 ダー。気苦労は絶えない。そして当日。イカ
 ルの群れ、そして、アカゲラ、アオゲラ、マ
 ヒワの群れ。やっぱり軽井沢は鳥が多い。帰
 り道、さっと手を上げて別れた参加者たち。
 その笑顔が生き甲斐で、吹雪の碓氷峠を何度

も越えてベニマシコを捜し、この日に備えたが、見たのはリーダーだけ。そう、鳥には羽がある。参加者の皆さん御苦労様でした。

(林 滋)

3月15日(日) 浦和市 三室地区

人 57人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ キンクロハジロ コジュケイ キジ タカブシギ イソシギ タシギ ユリカモメ ウミネコ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種) 三室の里に、春がやってきた。埼玉県はもとより、東京の台東区、杉並区、豊島区、品川区、古河の総和町、みんな見沼の里に集まり、春の草花や、コブシや、白モクレンの花を楽しんだ。鳥たちも、初めてウミネコの若鳥が出現し、セキレイも4種出現した。鳥と花と樹と蝶、ユリカモメが夏羽になるのもはや近い。

(楠見邦博)

3月20日(金、休) 秩父市 羊山公園付近

人 79人 天気 晴 鳥 トビ ハイタカ キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ トラツグミ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ ウソ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(32種) 1週間に3回も雪。悪天候が続く中で、この日だけが絶好の日和。どうだ! 雪を踏みしめながら、見つけたアカゲラは印象的。お目当てのウソがちらりて少々欲求不満気味でいたところ、町田リーダーが芝生の斜面のトラツグミを発見。全員じっくり観察できて、逆転ホームラン。昼食後ぼちぼち帰り始めたところで、姿の池にヤマセミが出現。早目に帰った人にはお気の毒だが、後になるほど盛り上がった探鳥会

だった。どうだどうだ!! (海老原美夫)

3月22日(日) 狭山市 入間川

人 32人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワウ ゴイサギ コサギ カルガモ コガモ ハシビロガモ キンクロハジロ トビ チョウゲンボウ コチドリ イカルチドリ ハマシギ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(39種) あっかわセミ! 入間川に到着後の第一声がこれ。前日降った雪も溶けて、まづまづの晴天だが、河原を吹く風は冷たい。しかし、チョウゲンボウ、ユリカモメ、ツバメ等が飛び交い、寒さを忘れる。9月に切れた田島屋堰の復旧工事が進み、水位が戻ったためかキンクロハジロ、ハシビロガモが来ており、ハマシギも多数見られた。寒いので早目に稲荷山公園に向かう。大群のオナガが迎えてくれた。しめくりには、キョーッという声の主を皆で探して太ったアオゲラを見つけた。(三田長久)

3月28日(土) 浦和市 見沼ヘルシーロード

人 14人 天気 晴 鳥 カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ コジュケイ キジ セグロカモメ シラコバト キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(32種) 集合場所ではイワツバメが盛んに鳴き交わし、スタートしてすぐシラコバトがつぶらな瞳を見せてくれた。そして雄4羽を引き連れたキジの雌を皆で見た後、珍しいコゲラの交尾シーンなど予想外?に盛り上がった探鳥会になった。ウグイスの囀りや、木蓮、沈丁花などの花の香のなか、終わってみれば32種。得した気分のノンビリ探鳥会だった。(伊藤芳晴)



蓮田市環境フォーラム

6月11日付け埼玉新聞によると、前号でもお知らせした環境フォーラムが、6月7日(日)蓮田市役所会議室で開催され、パネラーの一人として出席した当支部の中島康夫普及部長は、黒浜沼周辺で観察された野鳥は約110種に及ぶこと、なるべく手を加えない形での公園化計画と、ゴミ持ち帰り運動の推進を呼びかけました。これに対し、石川蓮田市長は「環境を大事にしながらの町づくりが基本」との考えを示すなど、熱っぽい討議が続けられ、集まった市民ら80人は、真剣に聞きっていました。

青森県支部のオオセッカ村

今年のバードソンの支援目標・オオセッカ村とは、青森県三沢市北東部、小川原湖と太平洋にはさまれた地域の、オオセッカ・コジュリン・オオヨシゴイ・ヒメクイナなどが繁殖する貴重な草原湿地帯を確保していこうという運動です。

募金内容は、オオセッカ村基金と、村民費の2種類。基金は1口1,000円以上で土地を確保するための資金、村民費は年1,000円で運動を続けていくための資金になります。

青森県支部オオセッカ村事務局は、〒033三沢市桜町2-11-28 津曲方、電話0176-52-4032、郵便振替「盛岡9-3354」。基金か村民費かを明記してお送り下さい。

会員の展覧会

秩父市在住の山岸昭治さんが、2回目のバードモデル展を開催します。

8月9日(日)～16日(日)

AM11:00～PM6:00(16日は5:00まで)

白木屋ギャラリー

(中央区京橋3-9-8 白伝ビル)

『しらこぼと』発送日

時々お問い合わせいただくのですが、『し

らこぼと』の発送は、毎月袋づめの会(土曜日)の翌々日の月曜日です。

7月の土曜日当番(2時～6時)

4日 森本國夫 角田真喜子

11日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)

18日 金井祐二 箕輪左知子

25日 袋づめの会(1時から)

ご寄付と支部賛助会費

市戸啓互 3,000円、川口由美子 2,000円、戸隠探鳥会参加者15,000円、馬場友里恵賛助会費 8,000円と寄付 2,000円、林滋 7,897円分切手、三宅島探鳥会参加者 2,526円、依田浩二 3,000円。ありがとうございました。

(50音順、敬称略)

会員数は

6月1日現在 1,928人です

活動報告

- 5月8日 野鳥画展展示作業準備(事務局)。
- 5月9日 編集部会議(6月号編集作業)。
- 5月16日 役員会議(司会・菱沼一充、各部の報告・総会準備・その他)。
- 5月21日 本部理事会に出席(海老原)。
- 5月30日 県自然保護課で補助金に関する手続きと北本自然学習センターの運用に関する話し合い(事務局)。



電車の吊広告に「ストレスは男をアリにする」との雑誌の見出しに、近頃は仕事に疲れると男は甘味にむらがるのかと思いつつ、明日の編集会議を思い出した。

編集にたずさわるアリさんたちも、アフターには鳥の最新ビデオを見て「チヨチヨビー」とサトウ(左党)のアリになっているなどと思っているうちに、ウトウトしてしまいました。(内藤義雄)

『しらこぼと』1992年7月号(第98号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町 107号 郵便振替東京9-121130
印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)